

特集1

# 大村智博士と 夢を語ろう

韮崎市出身の偉大なる先輩大村智博士と  
韮崎で学ぶ中高生たちが、「夢」について  
ざっくばらんに語り合いました。



**大村 智** 博士  
山梨大学特別栄誉博士  
北里大学特別栄誉教授  
女子美術大学名誉理事長  
山梨県韮崎市出身。韮崎中学校・韮崎高等学校を経て、山梨大学を卒業。  
2015年ノーベル医学・生理学賞を受賞。

## あなたの「夢」は、何ですか？

**大川** もともと読書が好きだったのですが、ミアキスの中高生スタッフとして韮崎市の広報のページを担当させてもらい、文章を書くことにも興味を持つようになりました。将来は、文字に関わる仕事に就きたいです。

**大村** 文字はとても大切。読むことで情報が整理されて頭の中に入ってくるし、書くことで考えが整理される。そういう訓練を続けていると、いろいろな場面ですっと発想ができるようになっていくんですね。これは、数学やサイエンスでも同じ。読むこと、書き留めること、ぜひ続けてください。

**岩崎** 課外で溶接に取り組んでいます。6月の山梨県高校溶接競技会で2位になり、県代表として関東甲信越大会に出場できることになりました。溶接工を目指して、もっともって技術を磨いていくつもりです。

**大村** どんなに機械が発達しても溶接は必



韮崎工業高等学校  
電子機械科2年  
**岩崎 結友**さん  
資格取得部所属の溶接女子。  
2018年の県高校溶接競技  
会で2位になり、関東甲信越  
大会に出場。

要だから、技術をきちんと身に着けるのは良いことだね。この間工業高校に韮崎大村美術館の絵が飾られたでしょう？ああいった良い作品に日常的に触れることで、情緒が高められて、豊かな発想ができるようになるんです。ぜひ、溶接だけでなく幅広く勉強して、自分を高めていってください。

**佐々木** スポーツ観戦が好きなので、将来は、医療の面からアスリートを支えられる人になりたいと思っています。

**大村** 好きなことを通して世の中に貢献していけるとするのは理想的だね。私が韮高の生徒だった頃はスポーツばかりやっていただけ、そこから学ぶことも多かった。恐らく勉強だけでは学べなかつただろうことを、いくつも思い出すことができます。

**佐々木** 私は環境科学部に所属していて、土の中からセルロースを分解する菌を探す研究をしてきました。残念ながらまだ見つかってはいないのですが、その過程でいろいろなることを学ぶことができました。

**大村** 私もね、こういう薬を見つけないかと思っても、なかなか見つからない。そういう仕事をしてきました。でもね、すぐに見つかることもあるんです。チャンスはいいつ訪れるかわからない。それを手にするために、やっぱり、続けることが大事だね。ぜひ続けて、良い微生物を見つけてください。

## 大村博士の中高生時代

**大川** 先生はどんな中高生時代を過ごされましたか？

**大村** 小学4年のときに太平洋戦争が終わり復興へと進んでいくのですが、何しろ物がなくて、貧しい時代でした。中学校の校舎もないから小学校の体育館を間借りして授業をしていたのですよ。とはいえ、良い思い

# Miacis ミアキス

中学・高校生の拠点

蕪崎市民交流センター「ニコリ」の地下に、2016年10月にオープンした、中高生のためのパブリックスペース。家庭、学校に次ぐ第三の居場所であり、放課後や休日に、勉強をしたり、ゲームやスポーツを楽しんだりして過ごすことも、少し年上の先輩や地域の大人と交流したり、イベントの開催など自分のやりたいことに挑戦することもできる、自由な空間です。

蕪崎市では、中高生がミアキスでの活動を通して郷土愛や誇りを育み、未来の蕪崎の担い手になってくれることを期待しています。



座談会の様子は  
こちらから  
ご覧いただけます



※この座談会は2018年12月27日に行ったものです。



蕪崎西中学校 3年  
大川 春哉くん

バスケットボールを愛する  
文学少年。ミアキスの中高  
生スタッフとしても活躍中。

**大川** そういふ先生と、なるべく話をしなさいよ。いろんなことが勉強できるから。先生に限らず、人との交流は、自分を励ますことにもなりますし、やはり、出合いを大切に、人を思いやる、そういう気持ちを持ち続けることが、あなた方に幸運を呼び込む

**佐々木** 私は、担任の先生をとて尊敬しているのですが、今のお話を聞いて、改めて出合えてよかったです感じました。

**大村** 一つのことを一生懸命にやっている、と、必ず素晴らしい人に出会えるんですよ。それは、先生だったり、友達だったり、仲間であつたり…。私は、そうした出合いを大事にしてきました。

例えば、中学校の鈴木勝枝先生。その頃の農家で子どもも重要な働き手でしたから、私が学校に行かないで農業を手伝っている、と、鈴木先生が細いあぜ道を歩いて来るんですよ。そして、「大村君、頑張っているね」と褒めてくれて、「今日はこんなことがあつたのよ」と話して聞かせてくれる。それが嬉しくて、そのご恩に報いようという思いがあつたから、いろんなことに挑戦できたのだと思ひます。先生との出合いは、私のその後の生活に大きな影響を与えてくれました。

**岩崎** 大事にしていたことはありますか？

**大村** 一つのことを一生懸命にやっている、と、必ず素晴らしい人に出会えるんですよ。それは、先生だったり、友達だったり、仲間であつたり…。私は、そうした出合いを大事にしてきました。

出もたくさんあります。特に、好きなことはとことん突き詰めてやりましたね。私の場合はスポーツ、なかでもスキーが好きでした。大会にも参加して、蕪高2年で高校の部、3年の時には一般の部で優勝しました。

でくれると思いますよ。

## 夢は必ず叶うもの

**岩崎** 先生は偉大な発見をされましたが、たくさんの方の失敗も経験されたと思います。そんな時でもまだ頑張ろうと思えた原動力は何だったのですか？

**大村** 一世の中で一番大事なことは、人のためになることだよ」という祖母の教えですね。「これが完成したら人のためになる」という思いがあつたからこそ、失敗しても失敗しても、続けることができたんだと思ひます。

**佐々木** 科学者にとって最高の荣誉であるノーベル賞を受賞された今、次に目指しているものがあつたら教えてください。

**大村** ノーベル賞は確かに良い仕事をした人に与えられる賞ではあるけれど、他にも良い仕事をして世の中に貢献している人はたくさんいる。私を受賞できたのは、ものすごくラッキーな面もあつたんですね。だから、これを少しでも世の中に返していきたい。その責任が私にはあると思ひています。

**大川** 夢を叶えるために大事なことって何ですか？

**大村** 夢は、遠いところのものではありません。努力を積み重ねることによって、夢の方から近づいてきて、やがて必ず叶えられる。そういう意味でね、夢を叶えるためには、努力以外にないのです。がんばれ！



蕪崎高等学校  
文理科 2年  
佐々木 茜さん  
環境科学部で研究に取り組む理系女子。将来は医療の道に進み、アスリートをサポートしたい。